

経済観光環境関係

(環 境 局)

事業名	事業費	説明
地球温暖化・エネルギー対策の推進	5,865万2千円	住宅環境性能向上促進補助 5,790万円
	財源内訳	家庭における温室効果ガス削減を促進するため、市民が自宅で省エネ効果の高い工事を行う場合に、その費用の一部を補助する。
	〔 国庫補助金 2,895万円 〕	対 象 ①太陽光発電システム設置工事
	〔 一般財源 2,970万2千円 〕	②太陽熱利用システム設置工事
		③外断熱等の断熱材を使用する工事
		④複層窓ガラス等の建具を使用する工事
		補助額 1件当たり3万円
		⑤スマートコミュニティの推進 75万2千円
		西風新都において、開発事業者や立地企業等との連携を図りながら、地域内でエネルギーを効率的に利用するスマートコミュニティの実現に向けた取組を進める。

事業名	事業費	説明						
清掃工場整備	9億8,228万8千円 財源内訳 〔市債 9億5,240万円〕 〔一般財源 2,988万8千円〕	中工場灰出設備等改修 8億7,150万円 中工場灰溶融設備の廃止に伴い、灰出コンベア等設備の改修を行う。 (整備スケジュール) 24年度 設計・設備製作、撤去工事 25年度 撤去・設置工事、試運転調整 南工場基幹設備更新 1億1,078万8千円 南工場の老朽化に伴い、基幹設備の更新を行う。 (整備スケジュール) 25年度 設計、補助ボイラー設置、設備更新工事 26～28年度 設備更新工事等 (債務負担行為の設定) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>事業名</th><th>期間</th><th>限度額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南工場基幹設備更新</td><td>26～28年度</td><td>23億8,490万3千円</td></tr> </tbody> </table>	事業名	期間	限度額	南工場基幹設備更新	26～28年度	23億8,490万3千円
事業名	期間	限度額						
南工場基幹設備更新	26～28年度	23億8,490万3千円						

事業名	事業費	説明
恵下埋立地（仮称）整備	7億5,727万4千円 財源内訳 〔 国庫補助金 1,370万2千円 市債 7億1,080万円 一般財源 3,277万2千円 〕	用地取得、取付道路工事等 7億2,784万3千円 環境調査その他 2,943万1千円 （整備スケジュール） 18～22年度 基本計画、環境影響評価、地質調査、地形測量、基本設計等 23年度 用地測量・取得等 24年度 用地取得、実施設計、取付道路工事等 25年度 用地取得、実施設計、取付道路工事、下水管布設工事等 26～31年度 用地取得、取付道路工事、造成工事等

事業名	事業費	説明
ごみのないまちづくり	1億8,320万円 財源内訳 〔 県補助金 1,402万6千円 雑入 233万4千円 一般財源 1億6,684万円 〕	市民あがての活動の定着によるごみのないまちづくりの推進 6,701万円 ボランティア清掃の促進 298万円 クリーンボランティア支援事業の実施 197万9千円 まちの美化に関する里親制度の実施 100万1千円 クリーンアップチームひろしまによる清掃 6,403万円 交差点の歩道など、常時ごみが散乱している場所の清掃等を行う。 (見直し内容) 26年1月から6チーム12人体制を4チーム8人体制とし、都心部(美化推進区域)以外の清掃を担当。都心部内の清掃等については、美化推進チームで対応。 美化推進区域における対策 7,834万4千円 美化推進チームによる支援等の実施 1,456万円 26年1月から4チーム8人体制で都心部におけるボランティア清掃の支援、清掃等を行う。 灰皿及びごみ容器の集約 545万6千円 美化推進区域内の灰皿及びごみ容器を全て撤去し、来広者等の利便を図るうえで必要な場所に、たばこ事業者が設置する分煙に配慮した喫煙所の寄附を受けるとともに、分別に配慮したごみ箱を設置する。

事業名	事業費	説明
		喫煙所、ごみ箱、公衆トイレへの案内表示の整備等 616万円
		ばい捨て防止指導員による巡回パトロールの実施 4,433万8千円
		街路ごみ収集 783万円
		不法投棄ごみの解消に向けた取組 3,261万1千円
		市街地周辺地域の不法投棄ごみの撤去 1,000万円
		家電等の不法投棄ごみの緊急回収 270万円
		不法投棄防止パトロールの実施 1,799万3千円
		不法投棄防止看板の設置 22万円
		不法投棄防止キャンペーン等の実施 169万8千円
		美化啓発活動の実施 523万5千円
		散乱ごみ追放キャンペーンの実施 250万5千円
		清掃ボランティアの表彰 15万5千円
		学校における環境美化教育の推進 83万円
		リーフレット、ポスター等による啓発 174万5千円

(経済観光局)

事業名	事業費	説明
広島が有する経済力の蓄積等を生かした産業の振興	1億813万円 財源内訳 〔 一般財源 1億813万円 〕	⑨ 医療・福祉関連産業の育成 1,050万3千円 優れたものづくり技術を持つ市内企業の医療・福祉分野への参入を促進するため、25～27年度において、広島市立大学の有する技術シーズ（みみスイッチ）を活用して、市内企業、医療機関等との連携による「広島発高齢者見守り支援システム開発プロジェクト」を実施する。 ⑩ 新成長ビジネス事業化支援事業 2,006万4千円 市場テスト・事業化戦略策定支援 1,800万円 新成長ビジネスに関する新製品・新技術を開発している中小企業者に対し、市場テストや事業化戦略の策定に要する経費の一部を補助する。 補助率 対象経費の1/2以内 限度額 300万円 専門家の派遣 206万4千円 事業化戦略策定や販路開拓の段階における助言等

事業名	事業費	説明
		⑨ ICTと異分野の融合によるイノベーション促進事業 250万円 広島県と共同で、企業、金融機関、大学等が参加するフォーラムを設立し、ICT企業と医療・福祉、農業等の異分野の企業とのマッチングを支援する。 設立総会・研究会の開催及び活動支援 事業費 500万円 (負担区分) 広島市 250万円 広島県 250万円 自動車関連産業の振興対策 975万7千円 自動車産業経営者会の開催 363万円 自動車部品メーカーの経営者を対象に、カーエレクトロニクス化等の環境変化に円滑に対応するための研究会を開催する。 電気自動車の導入による開発支援 612万7千円 マツダ及びその部品供給元となる中小企業の技術開発を支援するため、デミオEVを公用車として活用し、その走行データを提供する。

事業名	事業費	説明
		ものづくり販路開拓支援事業 559万8千円 販路開拓コーディネータの配置 399万8千円 ものづくりを行う中小企業の販路開拓活動を支援するため、産業振興センターに配置している販路開拓コーディネータが、販路開拓やマーケティングに関するアドバイス及び新製品・新技術に係る関連企業とのマッチング等を行う。 見本市等出展補助 160万円 中小企業が自社製品を見本市等に出展する際に要する小間料、出品物運送費等の経費の一部を補助する。 補助率 対象経費の1/2以内 限度額 20万円 (拡充内容) 募集回数を年1回から2回に増やすとともに、補助金額を80万円から160万円に拡大。 ものづくり技能者養成事業補助 487万円 ものづくりを行う中小企業の生産現場における技能の強化を支援するため、機械加工等の実技指導を行う技能指導者を派遣する事業に対し、補助を行う。 実施主体 NPO法人ATAC ひろしま 補助内容 技能指導者の派遣に係る経費の1/3 及び事業実施に係る事務局経費の全額

事業名	事業費	説明
		モントリオール市との経済観光交流の促進 483万8千円 モントリオール市との経済観光交流の促進を図るため、地元経済団体と共同で経済観光訪問団をモントリオール市へ派遣する。 時期 25年8月（予定） 人員 3人 全国菓子大博覧会の開催支援 5,000万円 本市で開催される第26回全国菓子大博覧会・広島の実行委員会に参加し、開催を支援する。 負担金 1億3,832万7千円 （負担区分） 県菓子工業組合 3,832万7千円 広島県 5,000万円 広島市 5,000万円 開催期間 25年4月19日～5月12日 （24日間） 開催場所 旧広島市民球場跡地、 広島県立総合体育館 とその周辺

事業名	事業費	説明
企業等の立地誘導の推進	9億2,933万1千円 財源内訳 〔 特別会計繰入金 3億5,093万6千円 〕 一般財源 5億7,839万5千円	企業立地促進補助事業 企業立地促進補助金交付審議会の運営その他 18万2千円 補助金の交付 29社 9億2,914万9千円 (補助の概要) 【土地及び建物を取得する場合】 建物・設備に対する投資額×補助率 を補助 西風新都、市有地（小売・飲食も対象） 補助率：市外企業30%、市内企業25% ホルダー企業20% 限度額：10億円 広島駅周辺地域（小売・飲食も対象） 補助率：市外企業20%、市内企業15% 限度額：10億円 その他の地域（小売・飲食は対象外） 補助率：市外企業10%、市内企業8% 限度額：5億円 交付時期 操業開始後から申請可。5年間に分割して交付（西風新都、市有地への立地企業は一括交付を選択可） 【土地又は建物を賃借する場合】 コールセンター以外の事業所 賃借料（1年間分）×補助率 を補助 補助率：市外企業1/2、市内企業1/3 限度額：2,000万円 交付時期 賃借料（1年間分）を支払い後に交付 コールセンター 1事業所あたり2,000万円を補助 交付時期 新規雇用数（30人以上）を確認後に交付

事業名	事業費	説明
中小企業金融対策	265億5,200万円 財源内訳 〔 貸付金元利 収入 265億5,200万円 〕	中小企業一般振興融資等預託貸付け 融資枠 1,030億1,510万円 (拡充内容) ①借換融資(特例)の新設 24年度末に中小企業金融円滑化法の期限が到来することを踏まえ、25年度に限り、同法を利用して返済猶予を受けている市内中小企業者等を対象に借り換えを支援する。 融資限度額 7,000万円 (借換資金・運転資金) 貸出利率 2.1% ②創業支援融資の要件緩和 市内に居住していなくても創業する事業所が市内であれば、融資対象とする。 ③景気対策特別融資及び借換融資の取扱期間の1年間延長

事業名	事業費	説明
創業・ベンチャー支援事業	548万1千円 財源内訳 〔一般財源 548万1千円〕	創業者向け研修会・セミナーの開催 70万4千円 創業者等に対し、経営に関する知識や支援制度の活用方法などの創業にあたり必要となる知識やノウハウを習得する機会を提供する。 創業チャレンジ・ベンチャー支援事業 458万6千円 (事業内容) ①有望な事業構想を持つ者を募集選定し、専門家により事業計画の策定を支援する。 ②優秀な事業計画を策定した者の創業に際し、経営アドバイザーの派遣及び融資による支援を行う。 (拡充内容) 支援対象を創業前の者のみとしていたものを、創業後3年未満の中小企業者まで拡大する。 ⑨ 創業・ベンチャー支援連絡協議会の開催 19万1千円 広島市域で創業・ベンチャー支援を行っている国・県・経済団体・民間企業等による創業・ベンチャー支援連絡協議会を設立し、各団体の連携強化を図る。

事業名	事業費	説明
個性と魅力ある商店街の振興	960万円 財源内訳 〔一般財源 960万円〕	商店街振興事業補助 商店街の振興を目的として、区役所と連携しながら、3年以上継続的に実施する事業に対し、補助を行う。 補助率 1年度目 対象経費の2/3以内 2年度目 1/2以内 3年度目 1/3以内 限度額 1年度目 1事業あたり70万円 2年度目 50万円 3年度目 30万円
雇用の推進	110万7千円 財源内訳 〔一般財源 110万7千円〕	新 広島市雇用対策協定推進会議の運営 44万7千円 広島市雇用対策協定に基づく雇用対策を、地域の関係者が共同で推進するため、行政、労働者団体、使用者団体の代表者が参加する会議を開催する。 新 地域で雇用を創出するための研究会の運営 66万円 地域での雇用の創出や、高年齢者の生きがい創出及び地域経済の活性化に資する新しい働き方として「協同労働」が注目されていることを踏まえ、地域で雇用を創出するための仕組みについて課題の整理を行い、今後の支援策の企画・立案に繋げるための研究会を開催する。

事業名	事業費	説明
緊急雇用創出事業臨時 特例交付金事業	2億222万9千円 財源内訳 〔 県補助金 2億222万9千円 〕	観光や介護等今後の成長が見込まれる 分野での雇用創出や人材育成を行う。 雇用・就業予定者数 133人

【25年度実施事業】

市民局	外国人市民の総合相談窓口事業	489万9千円
健康福祉局	介護老人保健施設介護補助スタッフ確保事業	1,897万2千円
	特別養護老人ホーム介護補助スタッフ確保事業	2,529万6千円
こども未来局	民間保育園における子育て支援事業	5,387万7千円
経済観光局	若者の就業体験事業	9,818万1千円
	交流体験型観光の企画・開発	100万4千円

事業名	事業費	説明
観光の振興	1億671万2千円	
(1) 観光プログラムの開発と充実	2,560万9千円	⑨ 広島県デスティネーションキャンペーン二次交通整備促進事業 373万5千円 25年7～9月に全県域で展開されるデスティネーションキャンペーンに向け、観光客の利便性向上を図るため、JR広島駅を中心とした市内観光資源への二次交通の整備を行う。 実施時期 25年7～9月 神楽の定期公演を行う湯来ロッジとJR広島駅の間のシャトルバス運行 312万円 宮島、広島、呉、江田島を巡回する広島湾周遊航路の運航 61万5千円 事業費 491万4千円 (負担区分) 広島市 61万5千円 広島県 245万6千円 呉市ほか2市 184万3千円
	財源内訳	
	(県補助金 144万6千円) 一般財源 2,416万3千円	
		⑨ 広島神楽振興事業 180万円 神楽を広島の観光資源としてメニュー化するためのPR事業を展開する。 (事業内容) ①旧日本銀行広島支店における夜神楽の公演(デスティネーションキャンペーン関連事業) ②ホテル等への出張公演が可能な神楽団の情報を取りまとめたリーフレットの作成及びそれを活用した旅行会社等へのPR

事業名	事業費	説明	明						
		⑨ 広島城観光振興事業 二の丸を活用して歴史空間を体験できるイベントの提案を募集し、優秀な提案を行った事業者により事業を展開する。 広島・宮島・岩国地方観光連絡協議会事業 首都圏や関西圏などからの誘客を図るため、近隣市町等との広域的な連携のもと、広域観光ルートの開発と共同プロモーション活動を一体的に行う。 広島・宮島・岩国地方観光連絡協議会への負担金 事業費 990万円 (負担区分) <table><tr><td>広島市</td><td>198万円</td></tr><tr><td>廿日市市ほか15市町</td><td>684万円</td></tr><tr><td>商工会議所、その他 の関連事業者</td><td>108万円</td></tr></table> (拡充内容) 地域内の周遊ルート開発の企画を募集し、優秀なプランを提案した事業者へ商品開発を委託する。 松山市との広域連携の促進	広島市	198万円	廿日市市ほか15市町	684万円	商工会議所、その他 の関連事業者	108万円	400万円 198万円 31万2千円
広島市	198万円								
廿日市市ほか15市町	684万円								
商工会議所、その他 の関連事業者	108万円								

事業名	事業費	説明
		地域の魅力や特色を活かしたまち歩きの観光メニュー化 89万2千円 広島ならではのおもてなしの観光の実現に向け、ボランティアガイド団体が実施する地域の魅力や特色を活かした「まち歩き」をとりまとめ、パンフレットや市の観光ホームページで情報発信するなどにより観光メニュー化を図る。 (拡充内容) まち歩きコースを10コースから15コースに拡充する。 修学旅行誘致活性化事業 1,289万円 来広修学旅行生の増加を図るため、全国の学校や旅行会社等への誘致活動を行うとともに、教育関係者招へい事業等を展開する。 (拡充内容) ①体験型修学旅行の実施に向けた新たなメニューの開発検討 ②第10回全国ほんもの体験フォーラムin広島・山口の開催

事業名	事業費	説明
(2) ビジターズの受入環境づくり	1,408万1千円 財源内訳 〔 県補助金 71万7千円 〕 一般財源 1,336万4千円	外国人旅行者の受入環境整備 786万9千円 外国人旅行者向け街角観光案内所「トラベルパル・インターナショナル」の設置 18万2千円 外国人対応が可能なスタッフを配置した街角観光案内所を設置する。 ⑤ 公共施設における無料公衆無線LAN環境の整備 295万3千円 広島市文化交流会館外5施設に外国人旅行者が容易に利用できる屋内型の無料公衆無線LAN環境を整備する。 広島の観光素材を活かした体験型モデルコースの構築・周知 378万9千円 外国人旅行者をおもてなしできる人・店の育成・周知 94万5千円

事業名	事業費	説明
		ひろしま街角観光案内所「トラベルパ ル」の設置 526万7千円 観光客の利便性の向上を図るため、 郵便局や飲食店、小売店等におい て観光案内や観光パンフレットの 提供などのサービスを行う街角観 光案内所を設置する。 ⑨ 広島ピースホステルネットワークの運 営 41万9千円 観光客の受入環境の充実・強化を 図るため、市内の民間ユースホス テル等によるネットワークを構築 し、平和学習の場の提供や観光客 への情報提供、施設間の連携によ る受入推進等を図る。 「広島おもてなしパス」の発行 39万円 市内宿泊施設利用者に対するサー ビス向上を図るため、路面電車の フリーパスと市内観光施設等の優 待券をセットにした「広島おもて なしパス」を発行する。 ⑨ おもてなし満足度調査の実施 13万6千円 今後の観光振興事業の企画・立案 等の基礎資料とするため、観光客 に対し、本市のおもてなしに関す る満足度調査を実施する。

事業名	事業費	説明
(3) MICEの推進	1,655万6千円 財源内訳 [一般財源] 1,655万6千円	⑨ 伝統芸能の実演によるおもてなし 330万円 誘致した会議等のレセプションに、神楽団等を派遣して参加者をもてなすことにより、更なる誘致に繋げる。
		⑨ MICE人材の育成 39万9千円 広島産学公連携MICE推進協議会のメンバー等を対象として、MICE関係の有識者によるMICE推進のための講座を開催する。
		コンベンション開催助成 900万円 国際・国内会議の誘致を図るため、主催者に対し開催経費の一部を補助する。
		誘致活動 45万7千円 個別セールス及びコンベンション見本市への出展・参加を行う。
		市長メッセージの発信 24万6千円 国際・国内会議の主催者等に対し市長からの招請や開催歓迎のメッセージを発信し、より一層の会議等の誘致・開催に繋げる。
		J N T Oコンベンション協賛都市MICE推進事業負担金 300万円
		メッセ・コンベンション等交流施設の整備検討のための調査等 15万4千円

事業名	事業費	説明
(4) 広島情報の発信	5,046万6千円 財源内訳 〔雑入 89万円〕 一般財源 4,957万6千円〕	インバウンド推進事業 1,260万3千円 ビジット・ジャパン地方連携事業 800万円 外国人旅行者の来訪促進のため、中国運輸局、広島県等と共同でフランス、韓国、中国等を対象としたプロモーション活動を行う。 事業費 4,315万円 〔負担区分〕 広島市 800万円 中国運輸局 1,270万円 広島県 1,240万円 その他 1,005万円 (事業内容) ①フランス、韓国、中国等を対象としたインバウンド商品化事業 ②韓国、台湾等を対象とした訪日教育旅行の誘致促進及び受入支援等 ③海外人気ガイドブックを活用したプロモーションの展開 外国人観光客の誘客促進 460万3千円 外国人観光客を積極的に誘客するため、旅行業者への誘客、PR活動等を展開する。 (事業内容) ①韓国からの誘客促進に向けた旅行商品展示会への出展、旅行会社への情報発信等 ②中国・寧波市との経済観光交流の促進等

事業名	事業費	説明
		①新 観光地「広島」への関心度向上 402万5千円 観光地としての広島の魅力や情報を効果的に発信するため、広域都市圏内の観光素材を盛り込んだ観光PR用DVDを作成する。 広島県観光キャンペーンへの参画 2,000万円 広域化する観光ニーズに対応するため、県及び県内市町等と連携して、広島への観光客誘致や宣伝活動を強力に推進する。 事業費 1億981万4千円 (負担区分) 広島市 2,000万円 広島県 4,000万円 その他 4,981万4千円 (主な事業内容) ①観光情報の発信 ②旅行商品の販売促進 観光ホームページの運営 1,383万8千円 本市の観光情報を効果的に発信するため、観光ホームページ「ひろしまナビゲーター」を運営する。 (拡充内容) 神楽団、神楽イベント等の情報を取りまとめた専用サイト「ひろしま神楽情報」を構築する。

事業名	事業費	説明
「水の都ひろしま」づくりの推進	3,996万5千円 財源内訳 〔国庫補助金〕 1,950万円 市債 1,950万円 一般財源 96万5千円	水辺空間における市民や企業等の多様な利活用を促進する。 水辺のオープンカフェ環境整備 3,900万円 京橋川オープンカフェの新規展開を図るため、京橋川左岸河岸緑地に新たに共用空間（ウッドデッキ等公園施設）の整備を行う。 （整備スケジュール） 24年度 実施設計 25年度 ウッドデッキ整備工事 26年度 給排水設備等整備工事 水の都ひろしま推進協議会の開催 40万7千円 オープンカフェ出店者の公募・選定 55万8千円

事業名	事業費	説明
農村の活性化	200万円 財源内訳 〔一般財源 200万円〕	⑨ 中山間地域お宝資源掘り起こし事業 中山間地域の活性化を図るため、農村資源を活用した新たな観光交流などの農家ビジネスを行うきっかけづくりとなる活動に対し、助成する。 交付対象 中山間地域において農林漁業者3人以上で構成される地域団体等 補助率 1年度目 対象経費の10/10以内 2年度目 2/3以内 3年度目 1/2以内 限度額 1年度目 1事業あたり100万円 2年度目 70万円 3年度目 50万円
農業生産基盤整備	10億5,687万円 財源内訳 〔国庫補助金 300万円 県補助金 1,420万円 市債 3億9,250万円 分担金・負担金 375万円 一般財源 6億4,342万円〕	基盤整備促進事業 3,507万円 ちゅうおう 沼田町中王地区 ほ場整備 農道整備 4億100万円 かるが いそまつがはら 狩留家町礪松ヶ原農道ほか57路線 水路整備 4億6,380万円 かいと 白木町海戸2号水路ほか97か所 農業用施設維持補修 1億5,700万円

事業名	事業費	説明
健全な森林の育成・保全	2億2,260万円	林道整備 2,000万円
	財源内訳	ささがまる 安佐町笹ヶ丸線
	県補助金 1,123万9千円	林道改良 1億7,600万円
	市債 1億8,530万円	さんのうばら 沼田町三王原線ほか28路線
	一般財源 2,606万1千円	林道維持補修 2,500万円
		新 木質バイオマスエネルギー利用促進事業
		160万円
		森林資源を有効活用し、木質バイオマス発電への利用を促進するため、間伐残材等を搬出する森林組合や自治会等に対し、助成を行う。
		補助額 間伐残材等 1 トンあたり 1,000円

事業名	事業費	説明
有害鳥獣対策	5,342万5千円 財源内訳 県補助金 1,745万円 手数料 11万9千円 一般財源 3,585万6千円	⑨ 集落が自ら取り組む鳥獣被害対策モデル事業 100万円 佐伯区湯来町において、専門家の指導により、防除・駆除・環境整備等の総合的な鳥獣被害対策に取り組むモデル集落を形成するとともに、その取組を市域へ普及させる。 有害鳥獣捕獲事業 2,370万1千円 駆除班と委託契約を締結し、有害鳥獣の駆除を行うことにより、農作物及び生活環境被害に対処する。 (拡充内容) 駆除班への捕獲業務委託料におけるイノシシ・シカの捕獲単価の見直し(1件あたり2,500円→4,000円に増額) 野猿被害対策 319万1千円 農作物や市民生活に被害を与える野猿について、本来の生息区域への追い上げや被害調査等を行う。 (拡充内容) 野猿の出没が増加している佐伯区において、テレメトリー受信機の配備を拡充するとともに、駆除班による追い上げを強化。 いのしし捕獲柵等設置事業補助 427万7千円 農作物の被害を未然に防ぐため、農家が捕獲柵や箱わな等を設置する経費に対して補助を行う。

事業名	事業費	説明
		鳥獣被害防除施設共同設置事業補助 1,447万1千円 農作物の被害を未然に防ぐため、農家及び地域住民が自らの施工により集落規模の防除施設を設置する事業に対して補助を行う。 農家捕獲報償金その他 678万5千円 捕獲柵により鳥獣を捕獲した農家や緊急出動した駆除班に報償金等を支払う。 (拡充内容) イノシシ・シカの捕獲に係る報償金単価の見直し(1頭あたり2,000円→4,000円に増額)